

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

水や土壌をきれいに  
 する活動で実績を  
 残した個人・団体を  
 環境省が表彰する  
 水・土壌環境保全活  
 動功労者として、当団体  
 が豊明市のNPO豊  
 明エコミュニティと共  
 に選ばれた。

十二月二十四日県庁  
 で表彰状授与式が  
 あった。表彰は水質  
 浄化や水産物の調査  
 発表活動を通じた活動  
 に取り組んでいる個人・団体  
 が対象。今年は全国で24  
 団体が受賞し、県内は  
 2団体のみだった。

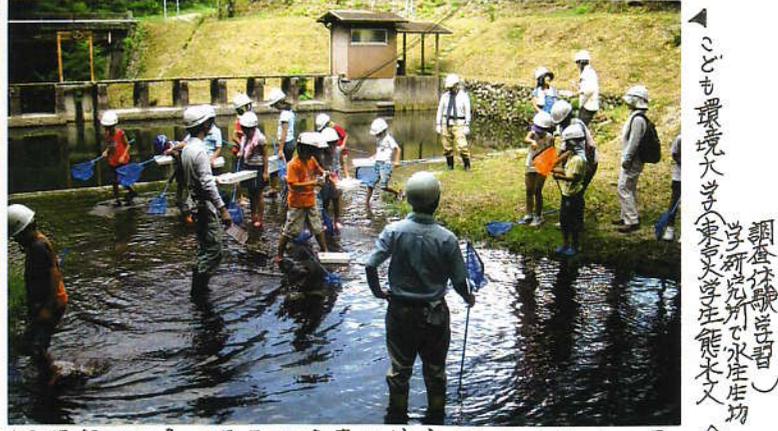
水や土壌保全で表彰  
 環境省から  
 尾張旭と豊明の団体



▲受賞報告にて市長水野氏へ訪問。



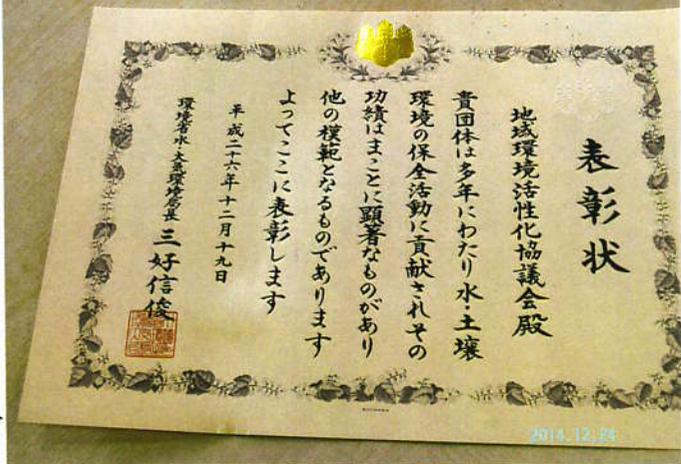
◀県庁環境部長室にて柳浦部長と撮影。



調査体験学習  
 (学研以外で水生生物  
 学研以外で水生生物  
 学研以外で水生生物  
 学研以外で水生生物)

あかたんぼの  
 赤とんぼ(作  
 詞 三木重隆 風  
 作曲 山田耕稼  
 は童謡の中で  
 も人気が高い  
 好きな童謡調  
 查で上位の常  
 連と聞くと二  
 (大正十一年発  
 表。もちろん今  
 の入子守の姐  
 やらにおなじれ  
 ることはない  
 桑の実を手に取  
 った体験がある  
 入かどればほい  
 るか見たことも  
 ない過去の光景  
 を感じる。  
 歌の力であろう。  
 劇作家の寺山修  
 司さんへの歌を  
 苦手だと書ける  
 小学校の音楽の時  
 間。初めてホトト  
 鳥歌を時先生から  
 習った。時先生が  
 られ父親の死を告  
 げられたあの歌で  
 胸を必死に貫き  
 ことが起る。時生  
 病した。思入れが  
 あるか寺山さんへ  
 さえの日本童謡集  
 にも赤とんぼは収録  
 されている。  
 赤とんぼのピキアも  
 が全国で激減してい  
 る。温暖化対策が  
 原因と指摘する  
 るか減少を止め  
 るか。桑実も分か  
 らない。時代歌は生

続けることができ  
 たがアキアキが  
 消えればどうなるか。は  
 ならない。  
 ああ、歌は日本の風景  
 をまほううしかにして



2014. 12. 24

2014. 12. 24